

改訂の序

本書は、2015年3月に初版が発行され、カテーテルアブレーションの手技に特化した入門書および実践マニュアルとして多くの方々に読んでいただき、ご好評いただいている。

カテーテルアブレーションは、疾患別に異なる手技やアプローチ法が必要であり、その習得は容易ではない。そのため、本書は、疾患別にアブレーション手技を中心に、最前線でアブレーション治療を行っているエキスパートに執筆していただき、アブレーションに必要な電気生理から基本的なカテーテル操作を解説している。さらに、エキスパートだからこそ知っている手技のコツとともにトラブルシューティングや合併症を予防する詳細な解説を随所に盛り込んでおり、アブレーション治療を学ぶ方々のための手引き書として貢献していると思われる。

しかしながら、初版から7年経過し、疾患によっては、新たな戦略やアプローチ法も散見されるとともに、カテーテル、バルーンテクノロジーやマッピングシステム等の技術革新の進歩も目覚ましい。

今回の改訂版においては、すべての項目に関して担当執筆者による見直しを行うとともに新たな項目の追加により、現在施行されているすべてのアブレーション法を網羅して概説している。また、執筆者の判断で、静止画では理解しづらい場合、動画（webで視聴可能）による解説も加えた。さらに、カテーテル、バルーンテクノロジーや三次元マッピングシステムに関しては、機能の向上や新たな機器の出現もあり、これらの適切な使用法に関してもわかりやすく解説している。

改訂版も引き続き、カテーテルアブレーション治療を学ぶ医師にとって、安全かつ迅速なアブレーション手技を習得するための手引き書として寄与できれば、望外の幸せである。

2022年3月

横須賀共済病院
高橋 淳